

宗像市市民参画等推進審議会 会議録（要点筆記）

日 時	令和2年11月12日（木） 14：00～16：20
場 所	宗像市役所 202会議室
委 員	■ 岡田智子 ■ 大賀雄史 ■ 鎌田 隆徳 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 種田明美 ■ 福岡佐知子 ■ 東博子 □山田 明 ※■出席 □欠席（五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課（花田課長、中脇係長、成瀬、大久保、佐藤）

1. はじめに（14：00～14：10）

（課長あいさつ）

- ・本日は市民サービス協働化提案制度の審査会である。各委員には、屈託のない意見を頂戴したい。

（審査会について）

- ・事務局から審査会の流れ等について説明を行った。

2. 個別審査（14：10～14：50）

①子ども支援ネットワーク WithWind

市担当部署：子ども育成課

- ・提案事業企画書をもとに提案事業について団体から説明。
- ・担当課意見書をもとに担当課から事業や団体の活動状況について説明。

<<前回審査時の特記事項の対応状況にゆいて>>

（中高生の居場所作りの参加者を増やす工夫）

- ・どういう居場所が中高生にとって必要なかを団体内部で考え、チラシ等を作成し、参加の呼びかけを行っている。
- ・中高生の声を拾う機会を設け、それを反映させるかたちで月1回の居場所作りを月2回にした。

（事務局を設けた、運営の安定化の検討）

- ・事務局を設けるほどの資金はない。メイトムないのスモールオフィスを借りて、事務所を設置していたが委託金の減額により解約した。しかし、関係団体のネットワークがあるため、運営については安定していると考えている。

<<質疑等>>

（質疑）2020年度の予算（案）支出欄の人員費の大幅な減額について教えていただきたい。

（提案団体回答）昨年度までは、メイトムで実施している子どもプレーパークの運営に合わせて、スタ

ップの人材育成も行うために5人のスタッフを配置していたが、今年度から3人で運営が可能となったため、人件費が減額となった。

(質疑) 担当課から予算減額の理由について教えていただきたい。

(担当課回答) 担当課としては、昨年度と同様の予算確保を財政課に依頼したが、宗像市の財政状況の悪化もあり、より効率的に活動できるように見直すことを求められたため、仕様書等を提案団体とともに協議しながら、本年度の予算にした。

(質疑) メイトムから子どもプレーパークを始めて地域にも広がっているのはすばらしいことであるが、各地域の大人たちにも活動を広げるような努力をしているのか教えていただきたい。

(提案団体回答) 各地域に提案団体が中に入って1年間一緒に活動を行い、広げていくようにしている。単にお願いするのではなく、子どもが主体的に活動し、居場所ができるように理念も伝えている。最終的には、地域単位で活動ができていければと考えている。

(質疑) 幼少の子どもたちは思いもよらぬ事故等もあるため、そこには人材を割り当ててほしい。玄海地区や河東地区などの4校区でまだプレーパークができていないようだが、現在の状況を教えていただきたい。

(提案団体回答) 市の職員にお願いをして、各地区に広報してもらった。先日池野地区コミュニティから依頼を受けたので、これから行っていく予定である。このように、市とともに広げていくように今後も活動していく。

(質疑) 子どもが安心できる居場所は、今年は新型コロナウイルスの影響により特に重要であったと思うが、昨年とどのような変化があったかをお伺いしたい。

(提案団体回答) 新型コロナウイルスの影響により外出ができなかったため、障害がある乳幼児を育てている保護者からは、早くプレーパークをあけてほしいという要望が多かった。そのため、緊急事態宣言が解除されてからすぐにプレーパークを再開した。その際に、多くの方から感謝の言葉を受けた。

②住まいと暮らしの情報センター 住まいむなかた

担当部署：建築課

- ・提案事業企画書をもとに提案事業について団体から説明。
- ・担当課意見書をもとに担当課から事業や団体の活動状況について説明。

<<担当課に対する前回審査時の特記事項の対応状況について>>

(事業実施における透明性と公正さの確保)

・公正さについては、必ず市に登録している指名登録業者の中から市が選定している。透明性についても、派遣員に対して秘密を保持するよう規約を設けている。

(団体に依存しすぎず、対等の立場で協働することについて)

・市営住宅入居者から電話があった場合は、派遣員と市職員で何うようにしている。対等の立場で協議し、設計書を作成するようにしている。

(協働委託による登録会員の技術向上について)

- ・毎年、派遣員に対して研修会を行うことで技術向上につなげている。

<<質疑応答等>>

(質疑) 現在の入居状況について、教えていただきたい。

(回答) 入居状況は、377戸のうち327戸入居している。

(質疑) 1年の修繕件数が102件で多いのは建物の老朽化が原因なのか。

(回答) 修繕件数は、軽微なものもいれているため多くなっている。耐用年数が過ぎている戸数も多くあるので老朽化はしている。

(質疑) 修理改善後に同じ箇所が悪くなったという問合せはあるのか。

(回答) 雨漏りの修繕では、時々あり、大規模修繕に切り替えたことはある。

(質疑) 12年間市と協働で事業を行っていると思うが、市との関係はどうか。

(回答) うまくいっている。

(質疑) 問題点等これまでなかったか。

(回答) ない。お互いに協議しながら業務を行っている。

(質疑) 施工後にアンケートを行ってはどうか。

(回答) 市から要望があれば、アンケートを行うことに対して抵抗はない。

(回答(担当課)) 市としても、回収方法等を協議すればアンケートを実施することに問題はない。

(質疑) アンケートは行うべきだと思う。サービス向上にもつながる。お客さん相手におこなっているため、アンケートにより悪い声だけでなくいい声ももらえればモチベーション向上にもつながるのではないか。

(回答) 承知した。

(質疑) 宗像市の営繕管理の業務は、提案団体の業務のどれくらいの割合を占めているのか。

(回答) 市営住宅では、宗像市の営繕管理業務は、全体の半分以下である。

3. 総合審査

①子ども支援ネットワーク WithWind

【提案団体に対する意見等】

- ・参加する子どもたちにとって、本当に大切な居場所になっていると感じた。
- 今後は、プレーワーカーさんがその地域その地域に育って、プレーパークが拡充していくことを期待している。
- さらに多くの子どもたちが参加しやすい状況を作っていただきたい。
- ・地域との連携と指導者の育成を図り、さらなる充実を目指してもらいたい。
 - ・回数や場所が増えるほど事務負担が増えると思われる。無理をされないよう、いろんな専門家の知恵を借りて、頑張ってもらいたい。
 - ・関わる方を増やす努力をしてほしい。

・事業をさらに地域に広げて担当課・関連コミュニティとも協議をしてプレーワーカー講座等の人材育成に今後も務めてほしい。

【担当課に対する意見等】

- ・子育てのしやすい環境づくりへの支援をお願いしたい。
- ・出張プレーパーク等に関心のある地域の大人にもプレーワーカーの講座を受けられるように手立てをお願いしたい。
- ・市の財政は厳しいと思いますが、委託少しでも上げられるように努力してほしい。
- ・プレーワーク等の事業の意義を他の部署の職員への理解を深める取組をしてほしい。
- ・宗像市の子どもの育つ環境の良さを市外にもっとアピールしてほしい。

②住まいと暮らしの情報センター 住まいむなかた

【提案団体に対する意見等】

- ・今後も透明性・公正さの確保に努めてほしい。
- ・入居者の声を聴ける仕組みを作ってほしい。
- ・令和3年度からアンケートの実施に取り組んでほしい。

【担当課に対する意見等】

- ・今後も透明性・公正さの確保に努めてほしい。
- ・利用者の声を聴ける仕組みを作ってほしい。
- ・それぞれの修理施工後、入居者へのアンケートを行ってほしい。
- ・今後も実施の過程で、透明性と公正さの確保に努めてほしい。
- ・資格者の人員増加、育成・採用にも積極的に取り組んでほしい。

4. その他

なし

= 散会 =